

担い手の経営のライフステージに応じた支援

タイトル 南郷トマト選果場の機能向上支援

JA名 旧JA会津みなみ（現JA会津よつば）（福島県）

1 動機 （経緯）	福島県南会津地方では原発事故の影響による農産物販売単価の低迷から生産者の営農意欲の低下、農業の担い手の減少が課題となっていました。 こうした中、JA会津みなみ（現・JA会津よつば）では地元行政と連携した作目転換や新規就農支援などを行い、南郷トマトの産地づくりに取り組んでいます。
2 概要	JAでは生産者の選果作業の負荷軽減、従来よりも精緻な選果による規格外品の削減等を目的に、光センサーや自動箱詰め制御装置の導入など選果場の機能向上にかかる取組みを実施しました。 なお、農林中央金庫福島支店は、地域農業の復興・活性化を図る観点から、事業費用に対し助成を行っています。
3 成果 （効果）	選果場の機能向上により、精緻な選果による規格外品の削減が可能となり、生産者の所得向上を実現しています。 また、新規就農者確保・育成の取組みと合わせ、毎年新規就農者が増加しており、特にIターン就農者が毎年1～3戸、定着率100%と地域農業の基盤作りが図られています。
4 今後の 予定（課題）	引き続き関係機関と連携しながら、南郷トマトが地域ブランドとして地域振興に寄与していけるよう農業者へのサポート等の対応を行っていきます。



南郷トマト



南郷トマト選果場